

令和5年度 第2回学校運営協議会

令和5年11月7日(火) 8:00～10:50
千塚小学校 ランチルーム
進行：教頭 記録：教務

委員 [] 様、
参加 教頭 教務 校長 8人出席

1 くすくすの会(読み聞かせ)見学

2 会長挨拶

雨の中登校が大変そうだった。自分たちの頃より車での登校で増えているのを感じた。くすくすの会は、特に1年生が楽しそうだった。5・6年生も真剣にお話を聞いている印象だった。今日は協議をお願いしたい。

3 校長挨拶

近況報告。泊を伴う行事が全て実施できたこと、利益より子どもたちの楽しみを優先し、リニューアルしたえのき祭を実施したこと、秋の6年生の高富士山登山は熊の出没の危険があるため、実施は取りやめることにしたこと、インフルエンザも学級閉鎖にならずに、何とかおさまったことを報告。

[] 教諭は1月の復職に向け、昨日から少しずつ体を慣らし出勤を始めた。
学校評価の分析・考察をしながら、次年度の教育課程の編成に入った。ウィズコロナ・ポストコロナをふまえ、これまで集会や行事として行っていたものを授業の中で対応可能なもの、本校ならではの特色ある活動として継続・充実させていくものなどを精選していく必要があると考えている。土曜日でなく平日に開催したり、内容を見直して授業日にして振替休日を設けたりと、検討事項は山積みである。変えることは簡単ではなく、とても時間がかかること。ご意見をいただき、学校づくりに取り組んでいきたい。

4 日程確認

協議は学校評価を中心にご意見をいただきたい。

5 1校時授業参観 別紙参照

6 協議(協議進行：会長)

(1) 学校評価について(教頭)

① 職員・保護者・児童アンケート結果について(別紙参照)

昨年度との比較(1枚目)各学年ごとの比較(2枚目)

全体としては、良い評価になっている。少数意見にも目を向けて、改善し学校づくりをしていきたい。

考察(別紙参照)

昨年度と同程度の評価と考えられるが、1・4・14の3つの項目は、昨年度より0.3ポイント以上下がっている。コロナが5類になり、いろいろなことが再開されていること、教員が1人補充されていないことも、教職員の多忙感につながっているのではないかと。

保護者・児童の評価は残念ながら、昨年度を上回る項目がなかった。

項目6は、昨年度同様3者ともよい評価。今後も意識して、取り組んでいきたい。

項目8は、評価が厳しい。発達段階に応じた児童への指導をどうするか検討が必要。

項目12は、上がっている学年もあるが、全体としては下がっている。伝えたり発表したりする活動をより日常的にしていくことが必要。

項目13は、教職員は強く意識して授業改善に取り組んでいく。

項目14は、図書室の利用方法等を変更し、読書の質の向上に取り組んでいる。

項目15は、教職員の評価が低い。決まった所(教室)ではできるが、朝の交通指導、廊下での来客時など臨機応変さが求められる場面ではできない。

項目19は、日常的にトラブルが起こることが想定されるため、トラブル時はきめ細かく組織的に早期対応していく。

項目27は、3者とも評価が低い。学校での生活指導、家庭への啓発、家庭での望ましい習慣づくり、児童の意識改革等を相互に関連させながら長期的な視点で取り組んでいきたい。

項目29は、夜遅くまで友達とオンラインでゲームをしていて、翌日の学校生活に悪影響が出ている。ゲームのID交換や約束などが日常的になっている。

項目37・38・39は、早期対応しているので、大きな問題になってはいない。

項目36は、酷暑と予想を超える草の生え方と量に対応が後手になった。早めに対策を講じて環境を維持したい。

(質問)

- (会長) 学校評価に今後どのように対応していくか
→明日の職員会議で教職員に周知。検討事項を職員研修で話し合い、来年度の教育課程に取り入れていく
- (委員) どのように児童は評価するのか。
→昨年度から児童もタブレットでアンケートを実施。保護者はさくら連絡網でのアンケートで回答。
子どもと話し合っているのか。
■(委員) 話し合っていないが、子どもから聞いている話で付けている。
■(委員) 子どもとのコミュニケーションをとる機会になるとよいのではないか。
■(委員) 学校に来る機会も多くない。よく分からないから、このへんでいいかとつけている保護者も多いのではないかと。話し合っていることは、親子間でのコミュニケーションのよい機会になるのではないかと。
- (委員) 我が子と話し合っている。
■(会長) 親子で話し合っている項目があってもよい。
■(委員) 保護者からの質問や子育てを反省する意見等はあるか。
→学校では考えていなかった視点でのご意見をいただき、見直すきっかけになっている。
- (委員) 子どもとのかかわりを振り返り、自分を見直すよい機会になる評価だと思う。
■(委員) 評価のためにやっているが、「子どもと話し合う時間はありますか」という質問に「あまりない。」と感じることで保護者の振り返りになり、教育にとってプラスになることがあるのではないかと。親子のコミュニケーションを考える項目が入るとよいのではないかと。
- (会長) 校内環境整備として除草の計画はあるのか。
→今までは技能員に任せていた。今年は異常な暑さにより、勤務時刻の8時にはすでに暑く、児童が実施するにも暑くてできなかった。
- (会長) 中学校はおやじの会など外部にお願いしている。
■(委員) 校庭を利用する団体がいるとよいが。
→利用団体も減ってきている状況。

(2) 働き方改革

①学校行事等の見直しについて

時間外勤務時間の割合が栃木市内でも高い状況にある。
全校遠足。1年生を迎える会等、6年生の負担が大きい。暑さ対策も考えて運動会を5月から10月に変更予定。人数が減ってきていることもあり、低・中・高学年ブロックから上・下学年ブロックにして種目を行う。10月なので、近隣の幼稚園・保育園との調整が必要。えのき祭の実施時期もPTA執行部に図って決めていきたい。

- (委員) 運動会の時期はよいが、コロナ前のように戻すと、子どもの負担感が増えてしまうのはよくない。どのように実施していくのか。
→体育の授業でも表現の活動があるので、10月までの間に計画的に練習をしていくことで負担感が大きくなるようにしていく。団体種目などもある程度学年によって決めておくことで負担感を減らしていく。

修学旅行を5月に鎌倉横浜方面に変更。社会科の学習を兼ねて国会議事堂も見学先に入れる。
PTA親子活動の内容を決めておくことで、負担が減るのではないかと。
研修等は16時までには終わらせ、ゆとりをもって業務に取り組めるようにする。

(3) 学習指導・児童指導より 別紙参照

児童の持ち物で共通理解する機会があったので、もう一度全職員で話し合い、共通理解をし、児童に指導し、保護者に便りを配付することになった。

(名札)

2年生になるときにプラスチック製の校章が入ったものを購入していた。業者の変更により1個605円になる。常時付けての活動は危険ということもあり、1年生が付けているビニール名札に変更していきたい。年度末に学年費より購入し、えのき祭等で追加販売を予定。

(体育着の名札)

小さい物に変更したいという要望が保護者から出ている。今は学年と名前(名字)が入っているので、毎年付け替えなくてはいけない。業者との調整が必要となり、時間が少しかかるので、移行期間を設けたい。

- (委員) 体育着の名札は小さい方がいい。
■(委員) 学年を入れなければ、兄弟でも使える。
制服組合があると、どういうルートで変更していくとよいのか。
■(委員) 自転車も組合があり、どこでも購入できるわけではない。
■(委員) 子どもの時、体育着の名札が大きいのはそれだけで恥ずかしかった。

- 委員) 体育着を新しいものに替えるわけではなく、名札を小さくするだけで、他校で使っているところもあるので、そんなに難しくないのではないか。
- 委員) 変更する方法等について、制服組合の業者に問い合わせてみたい。

(4) 小中一貫教育について 別紙参照

重点目標

中学校訪問・小中交流を実施

他校への授業参観を一人1回実施。幼稚園にも連絡し、授業参観してもらう機会を作った。一日入学を保護者のみの説明会にしたため、1・2年生と幼稚園・保育園児との交流を今年度から計画し、11月30日に実施予定。

会長) 吹上ブロックでの活動になっていると思うが、他のブロックとの取組は行っているか。

→中学校統合ということもあり、西部ブロックとしてまずは、校長で話合いの機会を作った。西部ブロックの講演会には教頭も参加するが、7校の全管理職の参加は難しい。

中学校入学前に子ども同士の関わりがもてるとよいのではないか。

→5年生の臨海自然教室では、吹上小と一緒に活動してる。

→中学校では統合を意識して、同じ資料集などを使うように計画していると聞いている。

(5) 今後の取組より

PTA 活動・・・組織を見直し、新たなえのき祭を行った。

危機管理・・・不審者対応の研修を行い、職員の共通理解を行い、児童に指導した。

いじめ防止基本方針

何か困ったことがあったら、誰かに話すことができるように指導していくことが大切。相談しやすい学校づくりをしていかななくてはならない。

7 ご意見・ご感想等

アシストネットの活動で、地域の一員として学校から地域へ取り組んでいる活動が現在はない。取り組めそうな活動があれば、ご意見いただきたい。

委員) 地域にもよると思うが、以前はお祭り、清掃活動などがあった。しかし、自治会での集まりもあまりなくなってしまった。3年生の地域学習では、地域のことを知ってもらえて良かったという意見があった。大人と児童と一緒に地域のことを知って、ふるさとを愛する心を育てることが大切なのではないか。

委員) クリーン作戦。最近は中学生は参加しなくなってしまったが、小学生も参加するとよいのではないか。それを学校便りなどで紹介していく。

校長) 自治力とはどんなことか、気付いたらごみを拾うことも自治力と話したら、拾ってくる児童が見られるようになった。地域をきれいにする活動はよいと思っている。

委員) 地域にアピールするとよい。

会長) 高富士山に児童が登ることは千塚のまつりに加わっているということで、地域の方は喜んでいる。

8 事務連絡

- 第3回学校運営協議会 1/30(火) 12:00~14:30
給食試食会、学校評価のまとめ、次年度の計画等について協議予定